

**奥出雲町教育委員会
構成**

職名	氏名	敬称略
教育長	川本 健二	
委員	福田 充雄	
委員	松崎 百合子	
委員	小林 勝吾	
委員	加藤 智恵美	



谷尻圭子委員の任期満了に伴い、5月25日付けで加藤智恵美さんが新たに教育委員に任命されました。任期は4年です。

就任にあたり、加藤さんは「就学前の教育現場で培った経験を活かしながらも、これからは教育委員として、さらに様々な角度から教育環境の変化を捉え、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。」と話されました。

**加藤智恵美さんを
教育委員に任命**

**おにぎり
太郎さんの
仁多米おにぎり
おいしい!**



おにぎりブームの火付け役として国内外で活躍するおにぎり太郎さんを招き、鳥上公民館で、おにぎり太郎さんがにぎったおにぎりをよこた「仁多米PR」イベントが開催されました。

当日は、おにぎり太郎さんが土鍋で炊き上げた炊き立ての仁多米をひとつひとつにぎり、園児たちに振舞いました。園児たちは「あつあつで、ふわふわでおいしい」「ごはんのりと塩を一緒に食べるとおいしい」などと笑顔で感想を話し、「おかわりちょうだい」とほとんどの園児がおかわりを求めるほどの人気ぶりでした。

おにぎり太郎さんは「将来子どもたちが奥出雲で米づくりにしようと思うと嬉しく、心を入れておにぎりをにぎりました。」

食後には園児とおにぎり太郎さんの交流の時間もあり、美味しいおにぎりがにぎられる「魔法の手」に興味津々の園児たち。笑顔と歓声に溢れたにぎやかなイベントになりました。



イベントの様子は仁多米PR動画として制作し、7月以降に町公式インスタグラムで発信します。



▲奥出雲町公式
インスタグラム

**世界農業遺産認定記念
奥出雲
どんぶりフェスタ
DONFES**



5月24日、三成公園で「奥出雲どんぶりフェスタ」が開催され、町内外から約1,500人が来場しました。会場には14店舗が出店し、各店自慢のどんぶりメニューを求め、多くの来場者でにぎわいました。

ステージイベントでは、仁多乃炎太鼓による迫力ある演奏が披露され、会場を大いに盛り上げました。また、ゲストとして奥出雲仁多米PR大使である出雲市出身の料理系大食いユーチューバーのロシアン佐藤さんが登場。大食い企画では豪快な食べっぷりに歓声が上がりました。ロシアン佐藤さんと町長による対談では、奥出雲町の食の魅力や地域活性化について語られました。

来場者は、奥出雲ならではの食を味わいながら、イベントを満喫していました。



主催した奥出雲町商工会青年部では、「食を通じて奥出雲町の魅力を発信できた。今後も地域を盛り上げるイベントを続けていきたい」と話されました。

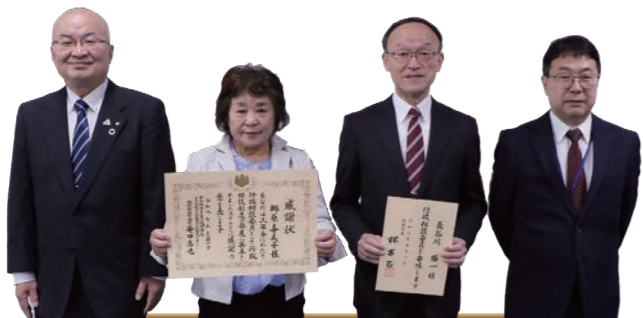


**行政相談委員
感謝状贈呈・新規委員委嘱状交付**

総務省鳥根行政監視行政相談センター長から、長年にわたり行政相談委員として地域住民の相談対応に尽力された郷原喜美子前委員へ感謝状が贈呈されました。また、新たに行政相談委員に委嘱された長谷川勝一委員へ委嘱状が交付されました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受けた民間有識者で、住民の皆さまの身近な相談相手として活動しています。役所の仕事に関する苦情や意見、要望、問い合わせなどの相談を受け付け、関係行政機関へ改善の申し入れを行うなど、問題解決の促進に取り組んでいます。

郷原さんは、「様々な相談を受けたり、たくさんの方との出会いと支えがあったからこそやってこれた」とこれまでの活動を振り返られました。



郷原喜美子さん(中央左)、長谷川勝一さん(中央右)、鳥根行政監視行政相談センター 渡邊敏章 所長(右)

自治会長永年勤続表彰

4月28日、奥出雲町自治会長連合会が開催され、永年にわたり自治会長として自治会運営にあたられた岩佐俊秀さん(横田地区角自治会)および景山明さん(八川地区八川本郷自治会)のお二方に系原町長から感謝状が贈呈されました。

岩佐さんは自治会長として16年、横田地区自治会長会長として12年、町自治会長連合会会長として7年間の永きにわたり町政発展、地域活性化に尽力されました。

景山さんは自治会長として12年、八川地区自治会長会長として9年、また町自治会長連合会副会長として2年にわたり地域の振興と発展に尽力されました。



景山明さん 岩佐俊秀さん

仁多郡遺族連合会役員会

仁多郡遺族連合会(会長・石原道夫、会員数474名)の役員会が、5月30日、カルチャープラザ仁多で開催されました。同会は、先の大戦で尊い命を捧げた英霊の顕彰と、戦争のない平和な国づくりへの協力することが主な活動となっています。

役員会では、令和7年度の事業・決算報告や令和8年度の事業計画・予算などについて検討され、戦後81年を迎え、日本遺族会や鳥根県遺族連合会と連携しながら、組織の再検討や戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐ「語り部事業」をさらに推進させていくことの大切さや、全国でも先進的に取り組みが行われている奥出雲町の「慰霊碑統合」が今年度から実施されることが話されました。



▲役員会の様子

激励式が行われました

【出場大会】令和8年度U18サッカー日本代表アジアカップ
 期日:5月29日~6月6日 会場:岐阜県相模原市



▲(左から)青木千夏選手、西村瑞希選手、宮本康樹選手、松崎健吾選手、吉岡真大選手

吉岡真大選手(3年)
 昨年のアジアカップの経験を活かし主将としてチームを勝利に導きます。

松崎健吾選手(3年)
 自分の実力をしっかりと発揮し優勝できるように頑張ります。

宮本康樹選手(3年)
 海外の選手に負けないように自分の力を発揮していきます。

西村瑞希選手(2年)
 緊張することもあると思いますが、自分の力を十分に発揮していきます。

青木千夏選手(2年)
 精一杯自分ができることを発揮してプレーができるよう頑張ります。